

仲道郁代がベートーヴェンの音楽と生涯に挑む注目のシリーズ第5回!!
充実の演奏と濃密なトークでベートーヴェンとシェイクスピアの芸術に迫ります。

仲道郁代 ベートーヴェンへの道

ベートーヴェン

鍵盤の宇宙

第5回 ベートーヴェンとシェイクスピア

2022.7.9(土)

15:00開演(14:15開場)

Hakuju Hall

全席指定:6,000円(税込)

仲道郁代(ピアノ/トーク)

Ikuyo Nakamichi, piano / talk

浦久俊彦(ナビゲーター)

Toshihiko Urahisa, navigator

Programme

ベートーヴェン:

ピアノ・ソナタ 第17番 二短調 op.31-2 「テンペスト」

ピアノ・ソナタ 第10番 ト長調 op.14-2

ピアノ・ソナタ 第31番 変イ長調 op.110

主催:Hakuju Hall / 株式会社 白寿生科学研究所

企画制作:浦久俊彦事務所

後援:一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

仲道郁代 ベートーヴェンへの道

ベートーヴェン

鍵盤の宇宙

第5回 ベートーヴェンとシェイクスピア

「第5回 ベートーヴェンとシェイクスピア」ミニ・コラム

読書するベートーヴェン

ある冬の夜。しんと静まった街。小さな明かりを灯して本を読むベートーヴェンの姿を想像してみたことがありますか？じつは、ベートーヴェンは、とても熱心な読書家でした。難聴の耳をピアノにこすりつける姿とか、髪を振り乱して作曲する姿とか、ベートーヴェンといえば音楽家としての姿しか思い浮かべないかもしれませんが、夢中で本を読み、印象深い文章を手帳に書き留める姿もまた、ベートーヴェンという偉大な芸術家をつくりあげた要素なのです。なかでもシェイクスピアは、彼のお気に入りの作家でした。名曲『エリーゼのために』を捧げたとされるテレゼ・マルファッティにシェイクスピアを読むよう勧めたり、戯曲のセリフを手帳に書き込んで人生訓に使ったり。ピアノ・ソナタ『テンペスト』がシェイクスピアの戯曲に由来するという説は、いまでは根拠がないとされますが、そんなエピソードが登場しても不思議ではないほど、シェイクスピアはベートーヴェンの創作のなかに深く入り込んでいたのです。

浦久俊彦（文筆家・文化芸術プロデューサー）

仲道郁代（ピアノ/トーク）
Ikuyo Nakamichi, piano / talk



©Kiyotaka Saito

第51回日本音楽コンクール第1位、ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位、エリザベト王妃国際音楽コンクール入賞。これまでに、ピッツバーク響、バイエルン放送響、フィルハーモニア管、ドイツ・カンマーフィル等、海外オーケストラとも多数共演。CDはソニー・ミュージックレーベルズと専属契約を結び、レコード・アカデミー賞受賞を含む「仲道郁代ベートーヴェン集成～ピアノ・ソナタ&協奏曲全集」「モーツァルト：ピアノ・ソナタ全集」「ドビュッシーの見たもの」等をリリース。著書に「ピアニストはおもしろい」（春秋社）など。2018年よりベートーヴェン没後200周年の2027年に向けて「仲道郁代The Road to 2027プロジェクト」をスタートし、リサイタルシリーズを展開中。一般社団法人音楽がヒラク未来代表理事、一般財団法人地域創造理事、桐朋学園大学教授、大阪音楽大学特任教授。令和3年度文化庁長官表彰、ならびに文化庁芸術祭「大賞」を受賞。

公式ホームページ：<http://www.ikuyo-nakamichi.com>

浦久俊彦（ナビゲーター）
Toshihiko Urahisa, navigator



©新津保 建秀

文筆家、文化芸術プロデューサー。パリを拠点に文化芸術プロデューサーとして活躍。帰国後、三井住友海上しらかわホールのエグゼクティブ・ディレクターを経て、現在、浦久俊彦事務所代表。一般財団法人欧州日本芸術財団代表理事、代官山未来音楽塾塾頭、サラマンカホール音楽監督、三島市文化アドバイザーなど、その活動は多岐にわたる。著書に『フランツ・リストはなぜ女たちを失神させたのか』、『悪魔と呼ばれたヴァイオリニスト』、『ベートーヴェンと日本人』（以上、新潮社）、『138億年の音楽史』（講談社）などがある。2020年6月に『フランツ・リストはなぜ〜』の韓国語版が韓国で出版された。最新刊は指揮者・山田和樹との共著『オーケストラに未来はあるか』（アルテスパブリッシング）。21年3月、サラマンカホール音楽監督として企画した『ぎふ未来音楽展2020』が、サントリー芸術財団第20回佐治敏三賞を受賞した。

公式ホームページ：<http://www.urahisa.com>

シリーズ次回の内容

第6回 「ベートーヴェンとルター」（テーマ：宗教 プロテスタントとドイツ精神）
（最終回） 予定曲目：ピアノ・ソナタ 第14番 嬰ハ短調 op.27-2 「月光」 他

チケットお申し込み

Hakuju Hall チケットセンター 03-5478-8700

11:00～17:00（火～金※祝日・休館日を除く）

オンラインチケット予約 <https://hakujuhall.jp>



- ローソンチケット <https://l-tike.com/>
- イープラス <https://eplus.jp>

先行発売日：2022年4月 9日（土）

一般発売日：2022年4月16日（土）



電車：
代々木公園駅（千代田線）
出口1より徒歩5分
代々木八幡駅（小田急線）
南口より徒歩5分

バス：
富ヶ谷バス停下車 徒歩1分
（渋谷駅西口バスターミナルより10分）
※渋63（中野行）
渋64（中野行）
渋66（阿佐ヶ谷行）
渋69（笹塚循環）

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷1-37-5
Tel 03-5478-8867

LINE 公式アカウント《お友だち限定》

先行発売日よりオンラインでご購入いただけるほか、
主催公演情報をいち早くお届けいたします。



友だち追加はこちらから！

@hakujuhall

検索



【ご購入時の留意点】

●新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、公演中止・延期及び発売日が延期となる可能性がございます。また、感染症防止の観点から、座席配置や販売席数等、状況に応じた対応をとっております。座席指定のご希望に沿えない場合や席移動をお願いする場合がございます。座席は通常配席となっており、前後左右の間隔は空いておりません。公演が予定通り開催された場合の払い戻しはいたしかねますので、ご了承ください。最後列Q列はリクライニング席となります（料金は変わりません）。出演者・曲目・曲順等の変更に伴うチケットの払い戻しはいたしかねます。●一度ご予約・ご購入いただいたチケットの変更、キャンセルはできません。●未就学児の入場はご遠慮下さい。●車椅子でご来場のお客様はあらかじめHakuju Hallまでご連絡下さい。

【ご来場のお客様へ】

●ご来場に際しまして、ホームページに掲載のHakuju Hall感染症予防への取り組み（Hakuju モデル）をご一読いただきますようお願い致します。
●ホールに駐車場はございません。

HAKUJU

株式会社 白寿生科学研究所は、音楽を通じて
“ゆとりある精神”を実現する場を提供いたします